

内閣総理大臣 岸田文雄 殿
法務大臣 古川禎久 殿
厚生労働大臣 後藤茂之 殿

ウィシュマさんの死亡の真相究明をするために監視カメラ映像の全面開示と 技能実習生制度の廃止を要請する署名

今年3月、名古屋出入国在留管理局でスリランカ人のウィシュマ・サンダマリさんが死亡していることが明らかになりました。その原因は、彼女が起き上がれないほど衰弱し、点滴を求め、仮釈放を求めても、当局がこれを拒否したことにあります。

そして真相究明のために来日したウィシュマさんの遺族（妹2名）が、監視カメラ映像の全面開示・提供を求めましたが、当局はいまだにこれを拒否しています。わたしたちは日本政府に対して、ウィシュマさんの死亡の真相究明を行なうために監視カメラ映像の全面開示・提供を強く求めます。

日本はいま「奴隷労働・人身取引の国」と世界的に批判を受けています。その代表的なものが外国人労働者の技能実習生制度です。彼ら・彼女らは、多額費用を払い、多額の借金を背負って来日して債務労働を行ない、労働条件（賃金等）は極めて低く、労働環境も最悪の企業で働き、彼ら・彼女らはそのようにして日本の労働力の一角を担っているのです。現在、日本には40万人の技能実習生がいます。今年7月に、技能実習制度と闘う指宿昭一弁護士がアメリカ国務省から「人身取引と闘うヒーロー」として表彰されましたが、そのことは日本の技能実習生制度に、国際社会が「NO!」を突き付けていることの象徴的現われに他なりません。

わたしたちは、このような人権侵害もはなはだしい技能実習生制度の即刻廃止を求めます。

1. 名古屋出入国在留管理局で今年3月に死亡したウィシュマさんの監視カメラの映像を、真相究明のために遺族の求めに応じて、直ちに全面開示し、すべてのデータを提供すること。
2. 国際的にも批判されている、外国人労働者の技能実習生制度を即刻廃止すること。

2021年11月

| 名 前 | 住 所 |
|-----|-----|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

【呼びかけ団体・個人】

壊憲 NO! 96条改悪反対連絡会議

(共同代表)

内田雅敏 (弁護士・戦争をさせない1000人委員会事務局長)
二瓶久勝 (元国鉄闘争共闘会議議長・オリジン労働組合元委員長)
関口広行 (国鉄労働組合高崎地方本部前執行委員長)
山口正紀 (ジャーナリスト)

(個人)

指宿昭一 (弁護士・外国人技能実習生問題弁護士連絡会共同代表)

【署名取り扱い団体】

署名締め切り：2022年1月28日、送付先 事務局あて
署名集約先：〒113-0033 東京都文京区本郷3-29-10 飯島ビル1F 壊憲 NO! 96条改悪反対連絡会議事務局
誓約：この署名は、上記の目的以外には使用いたしません。